

平成30年度 文京区立明化小学校 授業改善推進プラン

第1学年

	児童の実態	指導のめあて	具体的な授業改善の方法	2学期評価	3学期評価
国語	<p>○身近なことや経験したことを意欲的に話すことができる児童が多い。一方、話の聞き方については、静かに聞くことはできるものの、どんな内容について話しているのかを聞き落としてしまう児童の姿が見られる。</p> <p>○簡単な文を、はっきりとした声で読むことができる児童が多い。一方、文のどの部分を読んでいるかを追うことができずにスムーズに読めない児童が数名いる。</p> <p>○自分の経験をもとに文を書こうとしたり、文字を正しく丁寧に書こうと意識したりしている児童が多い。しかし、書く内容をなかなか決められない姿が見られる。また「は・へ・を」等の助詞を正しく使うことのできない児童が数名いる。</p>	<p>○話している相手の方をきちんと向いて聞くことや、大事なことを聞き落とさないように聞く力を身に付けさせる。</p> <p>○語のまとまりを意識しながらスムーズに読む力を育てる。</p> <p>○経験したことや想像したことをもとに、順序を整理し構成を考えて書く力、助詞を正しく使って書く力を育てる。</p>	<p>○ペアで話すときには体を相手の方に向ける、相手の目を見て頷きながら聞く等、聞き方について具体的なモデルを示す。</p> <p>○友達が話した内容を受けて、自分の感想や意見を話す経験を多く積ませる。また、話の内容を理解させるようにする。</p> <p>○教師が範読をして、語のまとまり、言葉の響き、リズムに気を付けて音読できるように指導する。</p> <p>○毎日の宿題として音読を行い正しくはっきりとした声で読む経験を多く積ませる。</p> <p>○短い文を書かせる活動を多く取り入れ、自分の経験を文章に表す機会を継続的に設ける。</p> <p>○声に出して、文を読ませ、文の間違いを探させたり、正しく書き直させたりする活動を取り入れ、「は・へ・を」の正しい使い方を身に付けさせる。</p>		
	○数の表し方や、数の大小・順	○数の表し方やその意味につい	○具体物をまとめて数えたり、		

算数	<p>序についてはほぼ全員の児童が理解している。一方、15を「10と5」「5と5と5」と見るなど、数を多様に見る力については、まだ定着していない。</p> <p>○10までのたし算・ひき算では、ほとんどの児童が計算することができる。しかし、まだ指や半具体物を使わないと計算できない児童もいる。</p> <p>○文章問題の意味の把握や、正しく立式することに課題が見られる。</p>	<p>て理解を深め、数についての感覚を豊かにする。</p> <p>○たし算・ひき算の計算練習を反復して行い、少しずつ速く解くことができるようにする。</p> <p>○数量やその関係を言葉、数、式、図などに表したり、読み取ったりすることができるようにする。</p>	<p>整理したり、表したりする活動を通して、2ずつ、5ずつ表すなど、数の多様な見方をさせる。</p> <p>○10はいくつといくつでできているか等、フラッシュカードなどを用いて、数の構成について考える問題練習を多く行う。</p> <p>○授業の中で、計算問題に取り組む機会を多くもつ。</p> <p>○問題場面を図に表す活動を通して、イメージしやすいようにする。</p>		
生活	<p>○ほとんどの児童が、通学路の歩き方や遊具の使い方等、安全に気を付けて利用することができる。</p> <p>○ほとんどの児童が、観察する視点に気を付けながら、気付いたことを絵や文章で表現することができる。しかし、内容については、気付きと表現力に大きな差が見られる。</p> <p>○朝顔の世話を熱心に行い、興味をもって植物に親しむ児童が多い。一方、世話することをつい忘れてしまう児童もいる。</p>	<p>○集団や社会の一員として、自分の役割や行動の仕方について考え、安全で適切な行動ができるようにする。</p> <p>○見る、聞く、触れる、作る、探す、育てる、遊ぶ等の活動の楽しさを味わうことや、そのための技能、能力を育てる。</p> <p>○動植物を大切にし、進んで関わる態度を育てる。</p>	<p>○公共物や公共施設の利用について事前に指導した後、実際に利用する中で、ものや施設、人とかかわりながら、正しい利用の仕方について指導する。</p> <p>○自然の事物や現象を利用した遊びや身近にある道具を使い、活動を工夫できる環境を整える。</p> <p>○教師も児童と一緒に活動を楽しみ、動植物との関わり方の手本となる。</p>		

<p>音楽</p>	<p>○歌うことが好きな児童が多い。新しい曲にも興味をもって歌う姿が見られ、意欲的である。</p> <p>○ジェンカなど決まった動きをしたり、曲に合わせて自由に身体表現したりする活動にとっても意欲的である。</p> <p>○鍵盤ハーモニカは経験の差があるものの、ほとんどの児童が楽しみながら演奏をすることができている。技能の課題として、スムーズに鍵盤を押さえることのできない児童が数名いる。</p>	<p>○楽しく音楽にかかわることを通して、一人一人が自ら歌ったり、音楽に合わせて体を動かしたりする態度を育てる。</p> <p>○曲のリズムを感じ取り、自由に身体表現をする。</p> <p>○音色に気を付けて簡単な旋律を演奏することができるようにする。</p>	<p>○歌詞に合った絵や写真、視聴覚教材による音や映像を利用し、児童がイメージを自由に膨らませる環境を整える。</p> <p>○手拍子やハミングでリズムをつかむ活動を取り入れる。</p> <p>○表現方法を広げるために例となる動きを示したり、友達の動きをグループで見合い、それぞれのよさに気付かせたりする。</p> <p>○ドの位置と押さえる指を確認する場面を設け、正しい指づかいで演奏できるようにする。</p> <p>○耳を澄まして音を聴き、音の出し方や組み合わせを工夫する指導を行う。音遊びや音を音楽にしていく活動を行う。</p>		
<p>図工</p>	<p>○好きなものや感じたこと、思ったことを作品に表現することができる児童が多い。一方で、自由な表現となると手が止まってしまう姿も見られる。</p> <p>○鑑賞の活動では友達の作品のよさや工夫に気付き、言葉で伝えることができる。しかし、思っても言葉に表すことができない児童も数名いる。</p> <p>○様々な素材や道具を使って、自分なりの作り方や表し方を試している。</p>	<p>○感じたことや想像したことから、表したいことを見つけて表すことができるようにする。</p> <p>○友達の作品について、発想やよさを認め合えるようにする。</p> <p>○用具の正しく安全な使い方を身に付けさせる。</p>	<p>○作る前に発想を自由に発表させ、十分にイメージを膨らませる。手が止まってしまう児童には個別に声をかけ、表したい思いを引き出す。</p> <p>○作品や友達とかわるため、授業の後半に自由に作品を鑑賞する時間をとり、発想のよさや工夫、頑張ったところを伝え合わせる。</p> <p>○技術面を伸ばすためにはさみ等の正しく安全な使い方を指導する。また、使用する機会を工</p>		

			夫する。		
体育	<p>○楽しく進んで運動しようとする意欲が感じられる。集団での整列・体操も、揃ってできるようになってきている。</p> <p>○鉄棒や短縄跳び、水遊びの学習では技能面での差が大きい。</p>	<p>○友達と仲良く、協力して安全に運動する態度を育てる。</p> <p>○多種多様な運動を取り入れ、筋力・柔軟性・瞬発力・持久力等、様々な力をバランス良く身に付ける。</p>	<p>○友達同士でかかわる力を育てるために、ペアやグループで協力して活動する場面を設定する。</p> <p>○初級コーナーや上級コーナーなど、様々な場を設定し、個々の技能に合った場で練習できるようにする。</p>		